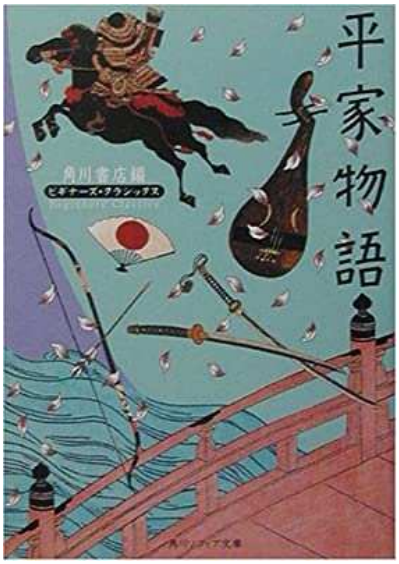
その本はそこに　読書案内 35　～ 古典の楽しみ ・ 建築とか ～

平家物語　ビギナーズ・クラシックス（角川文庫）❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖



■NHK 連ドラ「エール」が始まっていますね。元気のもらえる、作詞作曲の男の子、歌手の女の子の物語です。12 世紀末、源平の乱の頃の「平家物語」もまた、天台・浄土教の「布教の謡（うた）」でした。

【総合ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ】比叡山の慈円　【作詞（物語）】行長

【作曲（節）】　盲人の生仏　【歌手】　盲人の琵琶法師

生仏（しょうぶつ）は琵琶法師の管理者で、当時、琵琶法師は巨大なネットワークを全国に張りめぐらしていました。現アイドル教の AKB 宗の布教活動に似ていますね。現代の慈円は、秋元康さん。

■角川文庫ビギナーズクラシックスは、物語の抜粋、現代語訳と解説を楽しく全体を読み進められ、古文を読まなくても読めて良いです。読みがな、絵巻挿絵、写真、年表・系図、ゆかりの地の住所付き。

❖❖

■古典への誘い　（参考：これで古典がよくわかる・橋本治・ちくま文庫）

入口とするのが良いは、方丈記・平家物語・徒然草（和漢混交文）です。

【 漢字のみ ← 漢字+カタカナ ← 漢字+ひらがな ← 現代の日本語 】

ギリギリ現代語訳がなくても読めるし、現代の日本語にも近いからです。

天台・浄土教の布教の「謡」としての「平家物語」が、より広まった理由として、自分と同じ名前（苗字）の登場人物に共感し感動したことがあるそうです。（佐々木、畠山、今井、石田、山田次郎が矢を放つ等）

キリスト教も命掛けの布教活動でしたが、布教のための歌謡曲・平家物語は浄土教を広める役割を終えて、識字率の高い現在は、ただ音もなく、長い歌詞だけが残りました。

■建築へ目向けると・・・（参考：日本史探訪 5.6・角川文庫など）　※（○）現存、（×）現存せず

平家物語からつながる平安時代の建築

【京都】・・・（都の平安京はもとより、現存しない寺も相当大きかったのが日本建築史図集でわかる）

都の**平安京**（○）、藤原頼通の**平等院鳳凰堂**（○）、唯一現存の 9 体仏型の**浄瑠璃寺本堂**（○）

平清盛の**蓮華王院**（千体仏 三十三間堂・○）、藤原道長・頼通の**法成寺**（×）、白河天皇の**法勝寺**（×）

【岩手平泉】・・・藤原三代の東北平泉建築（当時は金と馬が有名で、現存しない寺も相当大きかった）

初代清衡の**中尊寺金色堂**（○）、2 代目基衡の**毛越（もうつ）寺**（庭園のみ○）、3 代目秀衡の**無量光院**（×）

【広島】・・・1168 年に平清盛の再興した**厳島神社**（○）

【鎌倉】・・・平安京になぞらえてつくられた**若宮大路・鶴岡八幡宮**（○）、源頼朝の**永福寺**（×）など

■はかないものだなと、思いがちなんですけれど、感傷的に葬り去ってしまうには、人やドラマはあまりに壮大で、魅力に満ちているもの。もう一度目をあてて、各地を歩いてみたい！遺構は、東北（平泉）～鎌倉・発祥の地（三重県津市）・京都・広島～お墓（山口県下関市）まで。　（案内：黒野）

千体仏（三十三間堂）

平氏発祥の地（三重県津市）忠盛塚

七盛塚（山口県下関市）赤間神社